

商品名 シロスタゾール錠50mg「日医工」 医薬品基本情報

薬効	3399 他に分類されない血液・体液用薬	一般名	シロスタゾール50mg錠
英名	Cilostazol	剤型	錠
薬価	10.40	規格	50mg 1錠
メーカー	日医工	毒劇区分	

シロスタゾール錠50mg「日医工」の効能・効果

慢性動脈閉塞症の(疼痛、冷感、虚血性諸症状、潰瘍)の改善、脳梗塞＜心原性脳塞栓症を除く＞発症後の再発抑制

シロスタゾール錠50mg「日医工」の使用制限等

1. 咯血、硝子体出血、血友病、出血、消化管出血、頭蓋内出血、尿路出血、毛細血管脆弱症、うっ血性心不全、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 高血圧が持続する脳梗塞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 冠動脈狭窄、月経期間中、出血傾向、出血傾向素因、耐糖能異常、糖尿病、悪性高血圧、持続して血圧が上昇している高血圧、腎機能障害、重篤な肝障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

シロスタゾール錠50mg「日医工」の副作用等

1. 心筋梗塞、狭心症、心室頻拍、肺出血、鼻出血、脳出血、頭蓋内出血、頭痛、悪心、嘔吐、意識障害、片麻痺、血小板減少、汎血球減少、無顆粒球症、発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多、間質性肺炎、黄疸、急性腎障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 消化管出血、出血、胃潰瘍、十二指腸潰瘍	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. うっ血性心不全、眼底出血、肝機能障害、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、LDH上昇	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 頭痛、頭重感	記載場所	その他の副作用

5. 過敏症、光線過敏症、紅斑、血圧低下、失神、一過性意識消失、口渇、貧血、白血球減少、好酸球増多、BUN上昇、クレアチニン上昇、排尿障害、結膜炎、筋痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 発疹、皮疹、そう痒感、動悸、頻脈、ほてり、心房細動、上室性頻拍、上室性期外収縮、心室性期外収縮、不整脈、眠気、めまい、不眠、しびれ感、腹痛、悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、胸やけ、腹部膨満感、味覚異常、出血傾向、皮下出血、尿酸値上昇、頻尿、浮腫、胸痛、耳鳴、倦怠感、発熱	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 蕁麻疹、血圧上昇、振戦、肩こり、血尿、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、発汗、疼痛、脱力感、血糖上昇、脱毛	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
8. 脈拍数増加、狭心症、過度の脈拍数増加、生存期間短縮、異常胎仔増加、出生仔低体重、死亡仔増加、糖尿病、糖尿病悪化、左心室心内膜肥厚、冠状動脈病変、左心室心内膜変化、右心房心外膜変化、冠状動脈変化、左心室心内膜出血性変化、心臓毒性	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

シロスタゾール錠50mg「日医工」の相互作用

1. 薬剤名等：抗凝固剤	発現事象	出血した時出血を助長	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血小板凝集抑制作用を有する	指示	注意
2. 薬剤名等：血小板凝集を抑制する薬剤	発現事象	出血した時出血を助長	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血小板凝集抑制作用を有する	指示	注意
3. 薬剤名等：血栓溶解剤	発現事象	出血した時出血を助長	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血小板凝集抑制作用を有する	指示	注意
4. 薬剤名等：プロスタグランジンE1製剤及びその誘導体	発現事象	出血した時出血を助長	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血小板凝集抑制作用を有する	指示	注意
5. 薬剤名等：薬物代謝酵素を阻害する薬剤	発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の血中濃度が上昇	指示	注意
6. 薬剤名等：グレープフルーツジュース				

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	グレープフルーツジュースの成分がCYP3A4を阻害することにより、本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

7. 薬剤名等：薬物代謝酵素を阻害する薬剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP2C19を阻害することにより、本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

8. 薬剤名等：ロバスタチン

発現事象	AUCが64%増加	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

